

時間割コード	G2B46210	開講年度	2026				
授業題目	日本語で社会学のテキストを読むゼミ					担当教員	MAWER KIM GISELA
英文授業名	Sociology Text Reading in Japanese						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育33講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	日本語の学術論文の読解力を高めることができる。 グループディスカッションに積極的に参加し、相手の意見を的確に把握した上、議論ができるようになる。 社会学一般と日本の社会学における基礎概念を理解し、説明できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際共修)						
(4)授業の概要	このセミナーでは日本語で社会学の文献を読み、ディスカッションやグループワークが実施されます。社会学という学問を概観した後、社会のいくつかの側面は社会学でどのように分析されてきたかを確認し、最近の日本の社会学の研究の文献を紹介します。最近の日本の社会学の研究テーマを確認することで、現代の日本社会の特徴や課題が把握できます。 本セミナーを履修することで、日本語の学術的な文献を読解する能力を上げ、社会学の基礎概念を身につけ、日本語で学術的なディスカッションを練習できます。なお、多様な背景を持つ学生とのディスカッションを通して、現代の日本社会と他の社会との共通点と違いを議論できます。						
(5)授業のキーワード	社会学一般						
(6)授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：社会学とは 第3回：社会学理論 第4回：社会化と自己 第5回：階層 第6回：ジェンダーとセクシュアリティ 第7回：家族とライフコース 第8回：逸脱と統制 第9回：労働 第10回：都市と地域 第11回：医療 第12回：メディアと情報化 第13回：エスニシティ 第14回：期末発表 第15回：期末発表 第16回：まとめ・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	ディスカッションやグループワークへの参加（30％） 期末発表（40％） 毎週のリーディングの要約（eALPSへのアップロード）（30％）						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	毎回のリーディングを読み、その要約をeALPSにアップします。なお、読んだリーディングに関する質問（2・3問程度）を準備します。期末発表のための準備時間を確保し、予め、期末発表の内容について、担当教員と相談してください。						
(10)履修上の注意	この授業は主に日本語にて実施されますが、学生と相談した上で、部分的に英語への切り替えすることも可能です。						
(11)質問,相談への対応	質問や相談はEメール、アポイントメント、授業後に教室で対応します。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには12回以上の出席が必要です。 「出席停止」に該当する際は、その旨の申請があり、指示された学修の補充に取り組んだ場合は成績評価の対象とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	欠席した回のリーディングについて、要約とエッセイが課されます。						

【教科書】	指定がありません。 必要なリーディングは授業中に配布されます。
【参考書】	指定がありません。